

# どうなつてほしい、 上越市

市議会議員さくらば節子が日頃の生活の中で疑問に思ったこと、課題と感ずることを発信しています。

日本全体の人口減少の中で、私達の住む上越市をそれでも生き活きとした街として発展させ続けたい！毎日の生活の中での気づきから、私たちの暮らしを少しずつ良くしていきたいと切望しております。

そのためには皆様お一人お一人の力が必要です。これからもどうかご意見をお寄せください。

## さくらば節子市政報告

# ごあいさつ



皆様お元気でお暮しですか。大変な冬が過ぎ、待ちに待った暖かい春がやってきました。春に合わせて、私も年二回発行している「さくらば節子市政報告」の紙面をリニューアルします。市民の皆様にもっと分かりやすく、身近に感じていただけるように発信をしてみたいです。どうぞよろしくお願い致します。

またこの紙面をお借りしまして、父成見正義が享年九十八歳で他界しましたことをお知らせいたします。生前の皆様のご厚情に心から感謝いたします。



## 平成30年度予算にはどんな特徴が？

### ◇ 子育て支援

- 小学校就学前の子供医療費が完全に無料！
- 放課後児童クラブ利用料金の多子世帯への減免
- 保育料金見直し等、子育て世代への全面的支

### ◇ 中山間地域支援

- 地域おこし協力隊員の積極的導入（農業だけでなく地域資源を活かす産業創出）
- 中山間地域棚田米等販売強化支援事業

### ◇ 都市・地域間交流の促進

- 新水族博物館「うみがたり」を起点として、直江津地域への回遊を促進

- 「体操アリーナ」の活用による各種スポーツの北信越大会・全国大会・国際大会及び長期合宿等の誘致

### ◇ 城下町高田の歴史と文化の発信

- 空き町家・百年料亭・百年老舗・高田世界館等の有効活用



国が上越市を「地方再生コンパクトシティモデル都市」に指定。今後3年間にわたり、高田の文化資産・高田公園の整備に集中的に支援すると決定した。

## さくらば節子の活動記録（平成29年10月～平成30年2月）



安塚区

朴ノ木棚田カフェを楽しみました！



浦川原区

米粉麵製造の現場を視察



大阪府高石市

日本唯一の公立助産師分娩施設



牧区

英語教室でハッピーハロウィン



大島区田麦

古民家泊牛田屋店主と歓談



北九州市

障がい者就労支援の先進地視察



市長に平成30年度の予算要望



名立区不動

市民の通報で災害現場視察

**主張します！**

## 子どもたちの命を守る里親・養子制度について、社会が理解を！

豊かな日本にも何らかの理由で生みの親と暮らすことができないたくさん子どもたちがいます。他方子供を持たないカップルもいます。せっかくこの世に生を受けもがきながら育ってきた命ですから、私達の社会が大切に守って行かなくてはなりません。

里親制度は子供たちが産みの親元に戻るまで、親の代身として責任を持って子どもを預かる制度です。また養子縁組は子どもを自分の家族として迎え、生涯を親子として共に暮らすための素晴らしい制度です。

しかし日本ではこれらの制度が十分に活かされていないように思われます。社会には里親や養子に関しての偏見がいまだに存在しています。事情ある子どもたちとこれからつながって行こうとするカップルに対して、社会が暖かく見守り応援して行くことが重要ではないでしょうか。

また心に傷を負ったままで大人になり、産んだ子供を知らず知らずに虐待をするようになってしまった親たちにも支援が必要です。悩みを打ち明けられるサロンのような環境を作って、助け合っていけたら良いですね。

私には親になってみて初めて知った喜びがたくさんありました。赤ちゃんは泣く以外は何もできない姿で生まれてきます。何もできない赤ちゃんのために東奔西走する中で、私たちは気づかぬうちに尊い親心を授かるのかもしれない。

**問** 上越における里親制度活用の実態と課題は何か。

**答** 里親制度には上越管内で32家庭が登録されていて、年間6、7名の子どもが里親の下で暮らしている。里親として認定されるまでに様々な面から審査されなければならない、また子どもさんとのマッチングも慎重に運ぶ必要があることから実績は高くない。

**問** 社会の中に、里親制度や養子縁組制度に対する無理解や偏見があるのも事実だ。米国の例では、児童相談所に保護された子供の8割以上が里親と暮らすか、養子縁組で実子となって新しい人生を生きている。上越市として市民のみなさんからより多くの理解を得るため、何ができると思うか。

**答** 今まで以上に児童相談所と情報交換の場を持ち、現場の課題を共有していく。それとともに機会をとらえて、市民の皆様に制度の価値を伝えていく努力をする。



安塚区

基幹道路拡幅修理の為の視察



牧区

Xmasに子どもたちと施設訪問



北諏訪小学校で議会学習会



新潟県庁

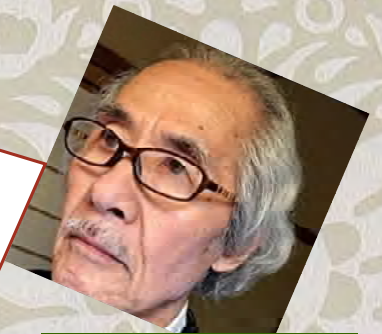
上沼道整備期成同盟会員に陳情

将来自分の住んでいる地域が人口減少で、どうなってしまうのか、不安に思っている人は多いのではないのでしょうか。健康になって、介護も医療もさほど使わずに、自分の家で暮らせる地域づくりができれば良いと思います。皆さん、健康の為に運動しましょう！



かざまけいすけさん  
牧区柳島にて整体ユニバース経営

市の健康診断を受けに行くのが不便で嫌な人は、ホームドクターを選んでもらいたい、データを市に送ることができればいいんじゃないかな。医師会の先生方から協力していただければ、年一回特別価格でやることだってできる。検討してみてください。



鴨島在住 保高さん

中学生を持つ親です。子供たちには、できればもう少し大きな学校で、色んな部活に挑戦させてあげたい。学校統合して、スクールバスを活用：って願うのは自分勝手でしょうか？



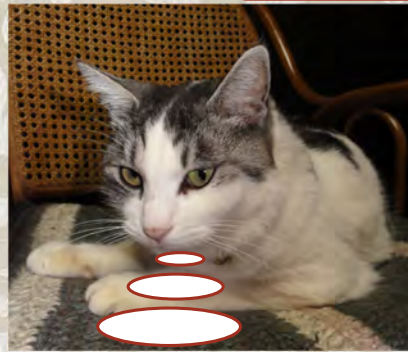
高津在住 西條さん

忙しい親たちは子育てが大変。昔から大家族の力を使ってみんなで子育てしてきたのに、今はバラバラになってしまった感じがするね。市も子育て支援の二環として、多世代同居を促すような、何らかの支援をするべきではないかなあ。



稲田在住  
長谷川さん

私の周りでは、運転免許証を返納した人や一人暮らしの高齢者が増えています。できれば歩いていける範囲にあるバス停から、循環バスに乗って病院や買い物に行けるような使い勝手の良い交通を考えてください。

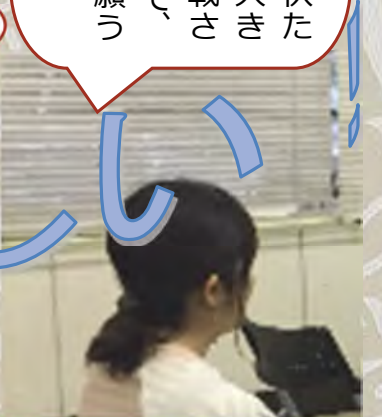


櫻庭家在住 マミさん  
市議会議員の猫松なの？

上越市のどっかでは捨て猫をもらってくれる譲渡会ってのをやってるらしい。市ももっとそういう所を宣伝して！ あたしの猫友たちに暖かい家を！

# こうなあってほしい 上越市

発行日：平成30年4月10日  
発行：櫻庭節子  
住所：〒943-0648  
上越市牧区小川1590番地  
電話・FAX：025-546-7835  
電子メール：  
office@sakuraba-setsuko.jp



郡部に在住のMさん